科目番号	54023	分類	専門科目 保健医療福祉政策論	履修者	高度実践公衆衛生看護コース	学年
科目名	公共政策論 （ Public Policy Studies ）					1 配当ｾﾒｽﾀｰ 後期

担当者	○下井直毅	区分	必修	単位	2	時間数	30

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概　要】 日本の公共政策に関する各種法律の特徴やその内容について学ぶ。また，医療に限らず幅広い公共政策の分野に関する基礎知識を習得し、将来の政策形成に参与できる能力を養う。 【目　標】 日本の公共政策の内容に対して関心を持ち、全体像を理解する。また、それを分析するための枠組みとしての公共政策論を学び、身につける。		1.多様な課題に対応する高度な実践力
		2.地域住民の自立を支える統合的支援能力
		3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力
	○	4.政策や保健事業を開発する能力
		5.災害対応や振興・再興感染症への危機管理能力
		6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第１回	公共政策論とは何か？ ― 公共政策論が誕生した背景などについて	下井
第２回	公共政策とは何か？ ― 社会の問題を解決するための方針や手段について	
第３回	アジェンダ設定を学ぶ ― どのような政策課題を検討するのか？	
第４回	政策問題の構造化 ― 対応すべき問題は、どのようにとらえるのか？	
第５回	公共政策の手段 ― どのようにして目的を実現するのか？	
第６回	規範的判断とは何か？ ― 社会が目指すべき価値について	
第７回	政策決定と合理性について ― 合理的な意思決定というのは可能なのか？	
第８回	政策決定と利益について ― 社会利益はどのように調整されて政策化するのか？	
第９回	政策決定と制度について ― 社会の制度は政策にどのような影響を及ぼすのか？	
第１０回	政策決定とアイディアについて ― 社会理念はどのような影響を及ぼすのか？	
第１１回	公共政策の実施について ― 政策実施については誰がどのようにかかわるのか？	
第１２回	公共政策の評価について ― 政策の効果はどのように測るのか？	
第１３回	公共政策の管理システム ― 政策を提供する仕組み・制度はどのようなものか？	
第１４回	公共政策の改善 ― 公共政策の分析・決定・実施の改善はどのようにするのか？	
第１５回	まとめ	

事前・事後学習	事前学習：前回の講義内容について十分に理解をしておくこと。 事後学習：講義内容の復習と次回講義の準備を 1.5 時間以上の時間をかけて取組むこと。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。
評価の方法	出席点あるいは授業の平常点（30%）、試験（70%）。合計 100%で 100 点満点。 100 点満点中 60 点以上であれば単位を付与する。
参考図書・資料等	秋吉貴雄、伊藤修一郎、北山俊哉「公共政策学の基礎」有斐閣、2015 年 秋吉貴雄「入門 公共政策学－社会問題を解決する『新しい知』」中央公論新社、2017 年
備　　考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。